

シラバス

科目名	Speaking II		担当者名	Peter Ripley	
学科	研究科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修 ・選択・必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	英語のリスニングやスピーキング、コミュニケーション力を高める。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	授業内での英語のリスニング、ネイティブスピーカーの講師や学生同士でのスピーキングの練習 教科書のそれぞれのユニットの後の定期テスト				
授業概要	コミュニケーションを中心にして、英会話を聞き取れたり、自分の言いたいことを話せるようになりたい学生のための授業 です。アクティビティー、ゲーム、ロールプレイ、絵本等をおして、英語を基礎から学びます。 自分にあっているレベルで参加して、進むことが出来ます。また、さまざまな国籍の教員から、世界の出来事についての 意見を聞き、文化や歴史の違いを感じる事が出来る。				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	Units 7/8 Lesson A	
	2	オリエンテーション2	20	Units 7/8 Lesson B	
	3	オリエンテーション3	21	Units 7/8 Lesson C	
	4	Units 1/2 Lesson A	22	Test 7/8	
	5	Units 1/2 Lesson B	23	Test 7/8	
	6	Units 1/2 Lesson C	24	Units 9/10 Lesson A	
	7	Test 1/2	25	Units 9/10 Lesson B	
	8	Test 1/2	26	Units 9/10 Lesson C	
	9	Units 3/4 Lesson A	27	Test 9/10	
	10	Units 3/4 Lesson B	28	Test 9/10	
	11	Units 3/4 Lesson C	29	Units 11/12 Lesson A	
	12	Test 3/4	30	Units 11/12 Lesson B	
	13	Test 3/4	31	Units 11/12 Lesson C	
	14	Units 5/6 Lesson A	32	Test 11/12	
	15	Units 5/6 Lesson B	33	Test 11/12	
	16	Units 5/6 Lesson C	34	確認テスト・まとめ1	
	17	Test 5/6	35	確認テスト・まとめ2	
18	Test 5/6	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	75%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	25%			
	レポート	0%	成績評価	会話テスト: 3回x25点 授業参加: 25点	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>30%				
講師プロフィール	元Air Canada客室乗務員。25年以上日本で英語を教えている。				

シラバス

科目名	職業適性講座Ⅱ		担当者名	岡野 秀子	
学科	研究科		授業方法	講義・グループワーク	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	社会人基礎力の育成をする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	就職活動および社会人として必要なことをクラス全員で考え、学び、行動に移す				
授業概要	就職活動のサポート授業 学内イベント準備				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション2	19	前期の反省	
	2	〃	20	後期クラス目標設定	
	3	目的目標設定について	21	後期個人目標設定	
	4	クラス目標設定	22	就職対策4	
	5	個人目標設定	23	就職対策5	
	6	就職対策1	24	就職対策6	
	7	就職対策2	25	卒展 クラス企画話し合い	
	8	就職対策3	26	卒展 クラス企画決定	
	9	学院祭 クラス企画話し合い	27	グループワークについて	
	10	学院祭 クラス企画決定	28	プレゼンテーション	
	11	主体性について	29	冬期特別講座概要	
	12	チームワークについて	30	卒業に向けて	
	13	夏期特別講座概要	31	社会人の心構え	
	14	学院祭について	32	テクノス展準備	
	15	学院祭について	33	テクノス展準備	
	16	学院祭について	34	授業まとめ/振り返り	
	17	個人目標再設定	35	〃	
18	前期総括	36	〃		
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	JALの国際線客室乗務員として24年間勤務。VIPフライト・新人外国人教官経験あり。				

シラバス

科目名	A.W.English		担当者名	Ernie Chan	
学科	研究科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期(通年) 必修・選択・(必修)選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	Compose paragraphs for academic writing アカデミックライティングでの文章を書く				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外大学・外資系企業で通用する論文・文章を書くスキルを習得する				
授業概要	outline of 5-page essay 5ページの作文の概要				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Introduction to class, Review of previous skills クラスの導入、1年生の復習	19	review previous term skills 前期で学んだスキルの復習	
	2	write an opinion paragraph 意見の段落を書く	20	brainstorm essay argument 作文の論点のアイデア出し	
	3	critical thinking activity 批判的思考アクティビティー	21	brainstorm essay direction 作文の方向性のアイデア出し	
	4	write a paragraph based on critical thought 批判思考を元にした1段落の文章を書く	22	check essay argument and direction in groups, discuss 作文の論点と方向性をグループで話し合い確認する	
	5	introductory sentence 導入文	23	first draft 第一稿	
	6	analysis and concluding sentence 分析と結び文	24	first draft 第一稿	
	7	interesting and compelling theses 興味深く説得力のある論旨	25	first draft 第一稿	
	8	good vs bad theses よい論旨と悪い論旨	26	peer review of first draft クラスメートによる第一稿の見直し	
	9	pyramid structure ピラミッド構造	27	second draft 第二稿	
	10	focusing on thesis 論旨に注目する	28	second draft 第二稿	
	11	pyramid structure ピラミッド構造	29	peer review of second draft クラスメートによる第二稿の見直し	
	12	relating to life/world application 生活・世界への応用に関して	30	final draft 最終稿	
	13	relevant issues 関連のある題材	31	final draft 最終稿	
	14	good vs bad arguments よい議論と悪い議論	32	peer review of final draft クラスメートによる最終稿の見直し	
	15	credibility of sources 情報の信憑性	33	peer review of final draft クラスメートによる最終稿の見直し	
	16	check credibility of sources 情報の信憑性をチェックする	34	review and correct final draft of essay 作文の最終稿を見直して修正	
	17	present essay outline 作文の概要を提出する	35	present essay to class 作文をクラスに提出	
18	final essay review 作文の最終確認	36	present essay to class, class conclusion 作文をクラスに提出、まとめ		
成績割合	テスト		学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	50%			
	レポート	50%	成績評価	50% classroom participation 50% 平常点 50% essay 50% 提出課題	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	2009年からカナダとグアテマラで英語教員として活躍。2018年より日本在住。				

シラバス

科目名	English Pragmatics		担当者名	Selena Greising	
学科	研究科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 通 年 必 修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数 1)
授業目的	英語を話すというスキルで一番上のレベルの要素を身につける。さらに高いレベルの表現を学び、環境や周りの人、状況などに基づいて適切に使用できるようにする。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	自分たちが使う言葉についてどんな言葉をいつ使うかということについて批判的に考えられるようになり、社会生活のどのレベルでの適切に使えるようにする。				
授業概要	様々な形の身体と発声的表現について学び練習することから授業を始める。役立つ表現を学び、様々な状況に適用する練習をする。*この授業について:この授業の内容は前期で一回りし、後期は別の教員が同じ内容を行う。教え方の違う2人の教員が同じ内容を行うことによって、学習内容の定着を図る。■■■■■				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Class introduction 導入	19	Class introduction 導入	
	2	Body language, facial expression ボディランゲージ、顔の表情	20	Body language, facial expression ボディランゲージ、顔の表情	
	3	Alba technique アルバ・テクニク	21	Alba technique アルバ・テクニク	
	4	No-content scene exercises ノーコンテンツシーン・エクササイズ	22	No-content scene exercises ノーコンテンツシーン・エクササイズ	
	5	Greetings and closings 挨拶と会話の終わり	23	Greetings and closings 挨拶と会話の終わり	
	6	Appropriate conversation starters 適切な会話の糸口	24	Appropriate conversation starters 適切な会話の糸口	
	7	Continuing conversations 会話の継続	25	Continuing conversations 会話の継続	
	8	Questions practice, review 質問の練習、復習	26	Questions practice, review 質問の練習、復習	
	9	TED talk, discussion TEDトーク、ディスカッション	27	TED talk, discussion TEDトーク、ディスカッション	
	10	Agree/Disagree 賛成・反対	28	Agree/Disagree 賛成・反対	
	11	Giving opinions 意見を述べる	29	Giving opinions 意見を述べる	
	12	Review activities 復習のアクティビティー	30	Review activities 復習のアクティビティー	
	13	Assign groups, explain final project グループ分け、最終プロジェクトの説明	31	Assign groups, explain final project グループ分け、最終プロジェクトの説明	
	14	Group planning time グループでプロジェクトの計画立て	32	Group planning time グループでプロジェクトの計画立て	
	15	Group practice time グループでの練習時間	33	Group practice time グループでの練習時間	
	16	Group record time グループでビデオ撮影	34	Group record time グループでビデオ撮影	
	17	Watch final project videos グループのビデオプロジェクトを見る	35	Watch final project videos グループのビデオプロジェクトを見る	
18	Wrap-up discussion まとめのディスカッション	36	Wrap-up discussion まとめのディスカッション		
成績割合	テスト	15%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	60%			
	レポート	25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	セリーナは大学で演劇を専攻し、身体と発声練習を含む効果的なコミュニケーションについて学んだ。				

シラバス

科目名	Airline English II		担当者名	岡崎志織	
学科	研究科		授業方法	講義、テキスト、練習問題、listening	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	みんなの外国語検定シルバー、ゴールド合格を目指して、Listeningを中心に基本的な英語の習得を目指す。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	検定(シルバー、ゴールド)合格を目指す。Listening力をつけて英語を習得し、就職後仕事で役立てる。				
授業概要	Listening教材、過去問、テキストを使用し、個々の潜在的な能力を引き出し、英語を操れるようにする。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Unit 1 Transportation, Listening,過去問	19	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問	
	2	U1, Transportation,Listening,過去問	20	U10 Culture Experience in Japan 1	
	3	U2 At a check in counter,Listening,過去問	21	U11 Culture Experience in Japan 2	
	4	U2 Listening,過去問	22	U12Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	5	U3 Facilities & service,Listening,過去問	23	U12Japanese Souvenirs ,Lis,過去問	
	6	U3 Facilities & service,Listening,過去問	24	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	7	U4 Giving Direction,Listening,過去問	25	U13Dealing with Health Problems&Emergencies	
	8	U4 Giving Direction,Listening,過去問	26	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	9	U5 Recommending a trip,Lis,過去問	27	U14 Dealing with complaints & Accidents	
	10	U5 Recommending a trip,Lis,過去問	28	U15 Upon Departure	
	11	U6 Dining in Japan,Lis,過去問	29	まとめ・振り返り	
	12	U7 Dining in Japan,Lis,過去問	30	まとめ・振り返り	
	13	U8 Arranging a tour,Lis,過去問	31	まとめ・振り返り	
	14	U8 Arranging a tour,Lis,過去問	32	後期期末テスト	
	15	Riview,Lis.過去問	33	テスト返却、解説	
	16	前期期末テスト	34	確認テスト・まとめ1	
	17	テスト返却、解説	35	確認テスト・まとめ2	
18	U9 Staying at a ryokan,Lis,過去問	36	確認テスト・まとめ3		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> 20% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>70% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	静岡大学毕业、カリフォルニア大学にてTESL取得、日本航空国際線勤務、在米6年、在独2年。1997年よりテクノスカレッジにて英語教師として教鞭を取る。				

シラバス

科目名	アマデウス実習ⅡA		担当者名	毛利奈緒・小泉公仁子	
学科	研究科		授業方法	実習と講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	世界中の多くの旅行会社、航空会社で利用されている総合予約システム「アマデウス」操作の習得。航空、旅行業界で実際に活用できる「技能」の習得と共に国際線予約業務に必要な「基礎知識」を身につける。リアルタイムなニュースや情報を取り上げて常に業界の現状を意識し、就職活動、就職後につなげる。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	国際線予約の操作、基礎知識を学び、秋の「アマデウス検定(SPECIALIST)」合格を目指す。				
授業概要	「アマデウス」トレーニングモードを使つての実習が中心。テキスト、早見表を使つて基本操作の学習後、練習問題、ロールプレイによって各自が操作技能、知識を積み上げていく。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	オリエンテーション1	19	前期復習	
	2	オリエンテーション2	20	分割、変更	
	3	オリエンテーション3	21	PNRのコピー、変更	
	4	国際線への導入	22	ヒストリー、キュー	
	5	各種コード検索	23	空席照会応用(2区間など)	
	6	タイムテーブル、空席照会、スケジュール照会	24	SSR応用(連絡先、APISなど)	
	7	空席照会からの予約	25	運賃①	
	8	旅客氏名、連絡先、PNR必須項目の入力	26	運賃②	
	9	完了、中断、抽出、乗継便の予約	27	基礎知識まとめ①	
	10	ロングセル、キャンセル待ち、ARNK、オープン	28	基礎知識まとめ②	
	11	項目の取消、訂正、変更、小児、幼児の予約	29	ロールプレイ①	
	12	各種ミール、HELPの活用、座席指定	30	ロールプレイ②	
	13	ダイレクトアクセス、アクセスレベル、GG	31	期末テスト対策	
	14	FFP、OSI、RMKS	32	期末テスト	
	15	総復習	33	総まとめ	
	16	検定対策①	34	確認テスト・まとめ1	
	17	期末テスト(検定対策②)	35	確認テスト・まとめ2	
	18	検定対策③	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	20%			
	検定	50%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>40% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>50% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	(株)日本航空にて予約、発券業務 (株)アクセス国際ネットワークにて学校教育担当講師				

シラバス

科目名	Presentation II		担当者名	Gilberto Mendez	
学科	研究科		授業方法	講義、演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 必修・選択・ <u>通年</u> <u>必修</u> ・ <u>選択</u> ・ <u>必修</u>	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	マーケティングの基礎、つまり、顧客のニーズと、それがどのように需要を生み出すかを理解し、ターゲット市場と、顧客を引きつける価値をどのように生み出すかを分析、発表する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	マーケティングの基礎と、顧客価値がどのように効果的なマーケティング戦略を生み出すか、ということを紹介する。必要不可欠なビジネスの用語を習得する。マーケティングとビジネスに関連した事例を分析することによって批判的思考を伸ばす。製品、サービス、ブランドの重要性。国際市場について学ぶ。クラスで学んだことを使い、マーケットリサーチプロジェクトの準備をする。				
授業概要	毎週のポキャプラーリスト、グループアクティビティ、事例分析、ポスター制作、中間・期末試験。この授業で学んだ知識は、後期で発展させるマーケティング・プランに使われる。理論を学ぶよりも、学んだことを応用することに重点が置かれる。後期には前期で学んだことを効果的に発表するスキルを学ぶ。				
授業計画表	授業内容		授業内容		
	1	授業オリエンテーション	19	Themes テーマ	
	2	〃	20	Themes: Inconvenient Truth テーマ:『不都合な真実』	
	3	〃	21	Check presentation theme ideas プレゼンテーションテーマのアイデアをチェックする	
	4	Understand the marketplace and what customer Wants, Needs and Demands. 市場と顧客の欲求、ニーズ、需要を理解する。	22	Images 画像	
	5	Wants, Needs and Demands. 欲求、ニーズ、需要	23	Text テキスト	
	6	Research customers and the marketplace. Page 36, 98, 100 顧客と市場のリサーチ	24	Check images and text in presentation opening プレゼンテーション冒頭での画像とテキストをチェックする	
	7	Marketing Intermediaries マーケティング仲介者	25	Data データ	
	8	Design a customer value driven marketing strategy. (3or 4 weeks) 顧客価値志向マーケティング戦略	26	Data: Inconvenient Truth データ:『不都合な真実』	
	9	How can we make a strategy that adds value?Page 37 価値を加える戦略をどのように作れるか	27	Check data, etc. in body part 1 ボディー部分パート1でのデータをチェックする	
	10	Segmentation 分割	28	Body part 2 ボディー部分パート2	
	11	Value Proposition: Differentiation and Positioning. 価値理論: 差異と商品展開	29	Body part 3 ボディー部分パート3	
	12	Construct an Integrated Marketing Program that Delivers Superior Value: 有意価値をもたらす統合マーケティングプログラムを作る。	30	Peer feedback 1 クラスメートのフィードバック1	
	13	Preparing an Integrated Marketing Plan. 統合マーケティングプランを作る。	31	Peer feedback 2 クラスメートのフィードバック2	
	14	Brands Page 238. ブランド	32	Final check and polish 最終チェックと仕上げ	
	15	Packaging 包装	33	Present 発表	
	16	Page 239: Labeling レーベリング	34	Present 発表	
	17	Pricing and Distribution. Page 294 価格設定と分配	35	Present 発表	
	18	The Promotion Mix. プロモーションミックス	36	Present 発表	
成績割合	テスト・発表	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	25%			
	レポート	25%	成績評価		
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> 25% R<<実働実践型学習>> 25% A<<主体的参加型学習>> 25% G<<海外体感型学習>> 25%				
講師プロフィール	講師はプエルトリコ出身で、ビジネスとマーケティングを大学で専攻した。IELTS、TOEIC、マーケティングを教える経験が豊富				

シラバス

科目名	Public Speaking II		担当者名	Aaron Meldahl	
学科	研究科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修(選択)	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方も体得する。				
授業概要	リサーチのチェックと台本準備 プレゼンテーションの練習とフィードバック 前期・後期での2度の最終プレゼンテーション				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Intro to course(授業への導入)	19		
	2	Model presentation 1: How to be an effective speaker (モデルプレゼンテーション1)	20		
	3	Model presentation 2: Magic Washing Machine (モデルプレゼンテーション2:魔法の洗濯機)	21		
	4	Organizing ideas: check brainstorm (アイデアの整理:アイデア出しのチェック)	22		
	5	Organizing ideas: check outline (アイデアの整理:概要のチェック)	23		
	6	Opening: GRAB(出だし:GRAB)	24		
	7	GRAB Check (GRABチェック)	25		
	8	Opening check(出だしチェック)	26		
	9	Body introduction(本文の導入)	27		
	10	Body check(本文チェック)	28		
	11	Body check(本文チェック)	29		
	12	Conclusion introduction(締めくくり導入)	30		
	13	Conclusion check(締めくくりチェック)	31		
	14	Final check(最終チェック)	32		
	15	Presentations 1(プレゼンテーション1)	33		
	16	Presentations 2(プレゼンテーション2)	34		
	17	Presentations 3(プレゼンテーション3)	35		
18	Presentations 4(プレゼンテーション4)	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	50%			
	レポート		成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体験型学習>>25%				
講師プロフィール	20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。				

シラバス

科目名	TOEIC II		担当者名	鈴木良	
学科	研究科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	4単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	ポキャブラリー、文法力、読解力、リスニング力を高め、TOEIC テストでさらに高得点を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	TOEIC 1 で学んだストラテジーをさらなる実践を通して習熟する。TOEIC 650点～750点を目指す。				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> TOEIC で頻出のポキャブラリーを修得する。 模試を繰り返し、実践の感覚をつかみ、動機付けを行う。 Part 6, Part 7の教材を使い、リーディング力を伸ばす。 				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	TOEIC Vocabulary 7 (26-50)、Part 6	
	2	オリエンテーション2	20	TOEIC Vocabulary 7 (51-75)、Part 6	
	3	オリエンテーション3	21	TOEIC Vocabulary 7 (76-100)、Part 7	
	4	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)	22	Vocabulary exam 7	
	5	模試5 Q. 1-167	23	模試10 Q. 1-167	
	6	TOEIC Vocabulary 5 (26-50)、Part 2	24	TOEIC Vocabulary 8 (1-25)、Part 6	
	7	TOEIC Vocabulary 5 (51-75)、Part 6	25	TOEIC Vocabulary 8 (26-50)、Part 6	
	8	TOEIC Vocabulary 5 (76-100)、Part 6	26	TOEIC Vocabulary 8 (51-75)、Part 7	
	9	Vocabulary exam 5	27	TOEIC Vocabulary 8 (76-100)、Part 7	
	10	模試7 Q. 1-167	28	Vocabulary exam 8	
	11	TOEIC Vocabulary 6 (1-25)、Part 2	29	模試11 Q. 1-167	
	12	TOEIC Vocabulary 6 (26-50)、Part 6	30	TOEIC Vocabulary 9 (1-25)、Part 6	
	13	TOEIC Vocabulary 6 (51-75)、Part 6	31	TOEIC Vocabulary 9 (26-50)、Part 6	
	14	模試8 Q. 1-167	32	後期期末テスト(模試12 Q. 1-167)	
	15	TOEIC Vocabulary 6 (76-100)、Part 6	33	TOEIC Vocabulary 9 (51-75)、テスト返却	
	16	Vocabulary exam 6	34	確認テスト・まとめ1	
	17	TOEIC Vocabulary 7 (1-25)、Part 6	35	確認テスト・まとめ2	
	18	前期期末テスト(模試9 Q. 1-167)	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	30%			
	レポート	0%	成績評価	期末テスト40%、単語テスト30%、TOEICテスト受験10%、授業への取り組み・宿題20%	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>30% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体験型学習>>30%				
講師プロフィール	TOEIC Listening & Reading テスト スコア990点取得、中学校、高等学校教員免許(英語)取得				

シラバス

科目名	Business Writing II A		担当者名	Peter Ripley	
学科	研究科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	ビジネスでの英文ライティングの初歩を学ぶ。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語でのタイピングに慣れる コンピューターの使い方一般とGmailやGoogle Driveのようなクラウドプラットフォームに慣れる ビジネスでの英文メールに慣れる 英文履歴書と送付書の作成 5段落の簡単なエッセーの書き方				
授業概要	ビジネスでの英文メール、タイピングの練習、TOEIC Writingテストの練習、履歴書・送付書作成、エッセー作成				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Intro to Gmail (Gmail導入)	19	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	2	Intro to Gmail (Gmail導入)	20	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	3	Intro to typing (typing導入)	21	Making/changing arrangements (アポを取る・変更する)	
	4	Intro to typing (typing導入)	22	Dealing with problems (問題への対処)	
	5	Introducing self (自己紹介文)	23	Dealing with problems (問題への対処)	
	6	Introducing self (自己紹介文)	24	Dealing with problems (問題への対処)	
	7	Introducing self (自己紹介文)	25	Dealing with problems (問題への対処)	
	8	Intro response (返事導入)	26	Dealing with problems (問題への対処)	
	9	Intro response (返事導入)	27	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	10	Making inquiries (問い合わせをする)	28	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	11	Making inquiries (問い合わせをする)	29	Essay outline (エッセーアウトライン)	
	12	Arranging a meeting (ミーティングの設定)	30	Essay body (エッセー本文)	
	13	Arranging a meeting (ミーティングの設定)	31	Essay body (エッセー本文)	
	14	Complaints (クレームの仕方)	32	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくり)	
	15	Complaints (クレームの仕方)	33	Essay body and conclusion (エッセー本文・締めくり)	
	16	Complaints (クレームの仕方)	34	Cover letter (送付書)	
	17	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)	35	Cover letter (送付書)	
	18	Introduce TOEIC Writing Test (TOEIC Writingテスト導入)	36	Cover letter (送付書)	
成績割合	テスト	30%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	35%			
	レポート	35%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	約30年間世界中の人々を教えている。多くの国で働いた経験があり、現在は、国際ビジネスに関わっている。				

シラバス

科目名	エアライン業務演習		担当者名	辻 昭浩	
学科	研究科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間 (週講時数1)
授業目的	海外旅行の知識を向上させる				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	海外旅行業界で働けるよう十分な知識を持てるよう指導する				
授業概要	1年次からの続きとして、ホテルや旅行法も講義し、海外旅行英語も勉強する。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション1	19	海外観光資源・地理の研究①	
	2	オリエンテーション2	20	海外観光資源・地理の研究②	
	3	オリエンテーション3	21	海外観光資源・地理の研究③	
	4	海外旅行・ホテルの知識解説	22	旅券法①	
	5	食事・名物料理の知識	23	旅券法②	
	6	海外旅行英語①	24	旅券法③	
	7	海外旅行英語②	25	海外旅行英語④	
	8	海外旅行英語③	26	海外旅行英語⑤	
	9	国際航空運賃解説①	27	海外旅行英語⑥	
	10	国際航空運賃解説②	28	旅行会社について	
	11	e-ticketお客様控え解説	29	空港のカウンター業務	
	12	特別運賃、PEX研究	30	運賃のまとめ	
	13	出入国法規の研究	31	国ごとの決まり	
	14	旅券法の解説	32	総復習・質問	
	15	日本人の出入国手続き研究	33	テストの説明	
	16	植物・動物検疫	34	確認テスト・まとめ1	
	17	税関手続きの研究	35	確認テスト・、まとめ2	
	18	査証についての知識	36	確認テスト・まとめ3	
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	30%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	元キャセイパシフィック航空で勤務経験があり、現在は自分で旅行会社を経営している				

シラバス

科目名	航空人間学Ⅱ		担当者名	権 銘大	
学科	研究科		授業方法	講義	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	18時間(週講時数1)
授業目的	人間力の向上を目指す				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	それぞれの個性を見つけ、伸ばすことを目標として、希望する会社に入れるようにすることが目的である。自分の意見を持ち、コミュニケーション力をいかに身につけるかが、大切なテーマである				
授業概要	様々な名著から引用した文や感銘を受けた歌のフレーズや動物の不思議な習性等から感じ取ったことを全員で話し合う。また航空会社の魅力についても各自意見交換をする				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	授業の目標と目的	19		
	2	自分の希望職種とそれを選んだ理由	20		
	3	航空会社の基本と商品	21		
	4	「三間」について学ぶ	22		
	5	航空会社の魅力	23		
	6	「どくろの説話」を聞いて感じたこと	24		
	7	航空会社のサービス・成功例と改善点	25		
	8	「世界に一つだけの花」の意味	26		
	9	航空会社の商品の特徴・無形の商品	27		
	10	「ヤマアラシのジレンマ」について	28		
	11	空港のグランドハンドリングサービス	29		
	12	マズローの欲求5段階説	30		
	13	航空関連・OCCの役割と仕事	31		
	14	「だまし絵」と「名画」を比べてみる	32		
	15	接客とは何か？	33		
	16	「人間万事塞翁が馬」について考える	34		
	17	自分の容量・キャパシティを知る	35		
	18	期末レポートについて	36		
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	80%			
	レポート	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	元アジアナ研修で勤務した経験があり、人間力を高める考え方や「心」についてためになる講義を展開する				

シラバス

科目名	コンピューター実習Ⅱ		担当者名	千葉 輝子	
学科	研究科		授業方法	実習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	72時間(週講時数2)
授業目的	Power Point・Excel共に、実務で役立つ機能を身に付ける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	前期:PowerPointの基本操作及び効率の良いプレゼン資料の作成方法を身に付ける 後期:Excelの基本操作及び効率の良い表(計算含む)、グラフの作成方法を身に付ける				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業、タイピング練習の実施(1年次に習得したタイピング力のアップを図る) ・PowerPointの基本操作を習得後、与えられたテーマをもとに各自プレゼン資料を作成し発表 ・Excelの基本操作を習得し、効率良く表やグラフを作成できるようなスキルを身に付ける 				
授業 計画 表	授業内容			授業内容	
	1	科目ガイダンス	19	表作成課題(相対参照と絶対参照)	
	2	Power Pointの基本操作/スライドの作成 (アウトライン表示)	20	課題(計算、表の装飾)	
	3	スライドの作成 図	21	表作成課題(COUNT/COUNTA関数)	
	4	スライドの作成 グラフ	22	表作成課題(RANK.EQ関数)	
	5	スライドの作成 SmartArt	23	表作成課題(IF関数)	
	6	スライドの作成 発表用原稿、配布資料について	24	グラフ作成の基本	
	7	発表用資料作成	25	課題(計算、表の装飾、グラフ)	
	8	〃	26	〃	
	9	〃	27	〃	
	10	〃	28	表作成課題(VLOOKUP関数)	
	11	〃	29	課題(計算、表の装飾、グラフ、条件付き書式)	
	12	中間試験 プレゼン発表	30	〃	
	13	Excelの基本操作(文字入力/数式入力)	31	〃	
	14	表作成課題(四則演算/表の装飾)	32	〃	
	15	〃	33	〃	
	16	〃	34	後期期末試験	
	17	前期期末試験	35	後期期末試験の解答解説	
18	前期期末試験の解答解説/前期振り返り	36	後期振り返り		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>> A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>				
講師プロフィール	商社にて国内営業のアシスタントとして、事務処理(商品の入在庫管理、見積書の作成、売上の月次処理など)の実務経験及び、新入社員研修など企業研修を行っている経験を活かし、実務で活かせるオフィス操作の指導を心掛けている。				

シラバス

科目名	ビジネスマナー		担当者名	相川奏恵	
学科	研究科		授業方法	講義・討議・事例研究・演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	36時間(週講1時数)
授業目的	社会人の心構えとマナー・仕事のすすめ方の基本を身につける				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	社会で即戦力となる為にビジネスマナーを身につけ、社会人としての意識の持ち方、顧客満足を向上させる 応対力と仕事のすすめ方を習得する。				
授業概要	コミュニケーション力を高める為の話し方・聞き方・ことば遣いを身につけ電話・来客・訪問の応対力を養う。 社内・社外・社交文書の知識を身につける。会社組織を理解し、報連相を演習で学ぶ。配慮の必要な顧客への 対応や心理を学び、顧客満足度を高める。自己啓発と自己管理の出来る社会人を目指す。				
授業計 画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション②	19	テスト返却と前期の振り返り	
	2	オリエンテーション①	20	配慮の必要な方へのお手伝い(屋外実習)	
	3	コミュニケーション①	21	配慮の必要な方へのお手伝い	
	4	コミュニケーション②	22	バリアフリーとノーマライゼーション	
	5	ストローク	23	顧客満足とホスピタリティ	
	6	電話応対①	24	空間心理①	
	7	電話応対②	25	空間心理②	
	8	電話応対③	26	顧客心理①	
	9	好感もてる話し方・感じの良い聞き方	27	顧客心理②	
	10	来客応対と会話の仕方	28	クレーム対応①	
	11	来客応対・お茶出し・案内の仕方	29	クレーム対応②	
	12	訪問時のマナーと名刺交換	30	会社組織と協働	
	13	アポイントと訪問	31	指示・命令の受け方と報連相	
	14	ビジネス文書(社外)①	32	PDCAサイクル	
	15	ビジネス文書(社外)②	33	自己啓発と自己管理	
	16	ビジネス文書(社内・社交)①	34	期末テスト	
	17	ビジネス文書(社内・社交)②	35	テスト返却と1年の振り返り	
18	前期期末テスト	36	まとめ		
成績割合	テスト	70%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89点 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<課題解決型学習>50% R<実働実践型学習>20% A<主体的参加型学習>20% G<海外体感型学習>10%				
講師プロフィール	エアーニッポン(株)にてキャビンアテンダント及び教育訓練教官業務(新人・中堅社員研修、緊急保安訓練教案、マニュアル作成と教育)を経験。現在はビジネスマナー、コミュニケーション、電話、課題解決、新入社員研修等を実施。実績は環境庁、東京都福祉保健局、稲城市役所、埼玉県産業振興公社・消費生活支援センター、日本旅行、りそな総研他				

シラバス

科目名	応用ゼミⅡA		担当者名		入澤 一樹	
学科	研究科		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期 必修・選択	後期・通年 必修・選択	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	オリエンテーション1 ゼミの趣旨について	19			
	2	オリエンテーション2 チームビルディング	20			
	3	ヒントを得る① そもそも空港って??	21			
	4	ヒントを得る② 日本の空港の現状 (基幹空港・地方空港の役割の違い)	22			
	5	ヒントを得る③ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果は、問題は)	23			
	6	ヒントを得る④ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)	24			
	7	ヒントを得る⑤ 日本の空港の現状(空港がもたらす経済 効果や問題は??)	25			
	8	ヒントを得る⑥ 日本とアジアや世界の空港の違い	26			
	9	ヒントを得る⑦ 歴史に学ぶ～成田闘争について～	27			
	10	ヒントを得る⑧ 今後の航空業界における空港の役割 は??	28			
	11	タスクの実行・管理① 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	29			
	12	タスクの実行・管理② 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	30			
	13	タスクの実行・管理③ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	31			
	14	タスクの実行・管理④ 世の中の声に耳を傾けよう (フィールドワーク)	32			
	15	課題設定① フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	33			
	16	課題設定② フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	34			
	17	課題設定③ フィールドワークを基に、 現状と理想のギャップを考える	35			
	18	課題設定④ ギャップを埋め、今後の空港の機能や SVC、戦略を考える	36			
成績割合	テスト(最終プレゼン)	20%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	60%				
	レポート・課題	20%	成績評価	出席率80%以上 S90～100点 A80～89 B70～79点 C60～69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%					
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名	応用ゼミⅡB		担当者名		入澤 一樹	
学科	研究科		授業方法		講義、演習、実習など	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期 必修・選択	後期 必修・選択	通年 必修・選択	授業時間数 36時間(週講時数2)
授業目的	航空機利用の変化やコンセッションなどによって変わりつつある空港のこれからを考える					
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	1.航空業界における「空港」の価値を理解する。 2.多面的かつ論理的に思考する。 3.問題解決に必要な知識・情報を適切な手段を用いて入手し、活用する。 4.日本語による多様な表現方法を習得し、明瞭に論じ述べる。 5.学びの意味や社会的責務を考え、自らの目標を設定し、自立(律)的に学ぶ。 6.自他の文化・伝統を理解し、その差異を尊重する。					
授業概要	業界知識、現状研究などをワークショップやフィールドワーク等で行う。					
授業計画表	授業内容			授業内容		
	1	課題設定⑤ ギャップを埋め、今後の空港の機能やSVC、戦略を考える。 考えた案の期待効果は??	19			
	2	課題設定⑥ 考えた案の期待効果は??	20			
	3	課題の検証① 考えたSVCやPLTが世間のニーズと合致するの かインタビュー(フィールドワーク)	21			
	4	課題の検証② 考えたSVCやPLTが世間のニーズと合致するの かインタビュー(フィールドワーク)	22			
	5	課題の検証③ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人 がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し	23			
	6	課題の検証④ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人 がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し	24			
	7	課題の検証⑤ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人 がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し	25			
	8	課題の検証⑥ 考えた機能やSVC、戦略を世間の人 がどう感じるかをインタビュー。インタビューを基に、企画・戦略を手直し	26			
	9	最終プレゼン準備① 最終プレゼンに向け、準備を進める	27			
	10	最終プレゼン準備② 最終プレゼンに向け、準備を進める	28			
	11	最終プレゼン準備③ 最終プレゼンに向け、準備を進める	29			
	12	最終プレゼン準備④ 最終プレゼンに向け、準備を進める	30			
	13	最終プレゼンリハーサル① 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル	31			
	14	最終プレゼンリハーサル② 翌週のプレゼンに向け、最終リハーサル	32			
	15	最終プレゼン①	33			
	16	最終プレゼン②	34			
	17	まとめ	35			
18	振り返り	36				
成績割合	テスト(最終プレゼン)	20%	学習FB方法	成績表送付		
	学習態度・出席率	60%				
	レポート・課題	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格		
	合計	100%				
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>10% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>20%					
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。					

シラバス

科目名	Marketing		担当者名	Gilberto Mendez	
学科	研究科		授業方法	講義、演習	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	18時間(週講時数1)
授業目的	マーケティングの基礎を理解し、ターゲット市場と、顧客を引きつける価値をどのように生み出すかを分析する。				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	マーケティングの基礎と、顧客価値がどのように効果的なマーケティング戦略を生み出すか、ということを紹介する。必要不可欠なビジネスの用語を習得する。マーケティングとビジネスに関連した事例を分析することによって批判的思考を伸ばす。製品、サービス、ブランドの重要性。国際市場について学ぶ。				
授業概要	毎週のポキャプラーリスト、グループアクティビティ、事例分析、ポスター制作、中間・期末試験。この授業で学んだ知識は、後期で発展させるマーケティング・プランに使われる。理論を学ぶよりも、学んだことを応用することに重点が置かれる。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	授業オリエンテーション	19		
	2	〃	20		
	3	〃	21		
	4	Understand the marketplace and what customer Wants, Needs and Demands. 市場と顧客の欲求、ニーズ、需要を理解する。	22		
	5	Wants, Needs and Demands. 欲求、ニーズ、需要	23		
	6	Research customers and the marketplace. Page 36, 98, 100 顧客と市場のリサーチ	24		
	7	Marketing Intermediaries マーケティング仲介者	25		
	8	Design a customer value driven marketing strategy.顧客価値志向マーケティング戦略	26		
	9	How can we make a strategy that adds value? Page 37 価値を加える戦略をどのように作れるか	27		
	10	Segmentation 分割	28		
	11	Value Proposition: Differentiation and Positioning. 価値理論: 差異と商品展開	29		
	12	Construct an Integrated Marketing Program that Delivers Superior Value: 統合マーケティングプログラムを作る。	30		
	13	Preparing an Integrated Marketing Plan. 統合マーケティングプランを作る。	31		
	14	Brands Page 238. ブランド	32		
	15	Packaging 包装	33		
	16	Page 239: Labeling レーベリング	34		
	17	Pricing and Distribution. Page 294 価格設定と分配	35		
	18	The Promotion Mix. プロモーションミックス	36		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	25%			
	レポート	25%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>> 25% R<<実働実践型学習>> 25% A<<主体的参加型学習>> 25% G<<海外体感型学習>> 25%				
講師プロフィール	講師はプエルトリコ出身で、ビジネスとマーケティングを大学で専攻した。IELTS、TOEIC、マーケティングを教える経験が豊富				

シラバス

科目名	Seminar II B		担当者名	アーロン	
学科	研究科		授業方法	演習、実技、自習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ <u>通年</u> 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	専門授業の理解促進、課題遂行				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	計画を立てて物事を行う習慣、および課題・英会話を通しての語学力習得				
授業概要	アシスタントティーチャーのアドバイスを受けながら、授業での疑問点解決、課題実施、予習・復習をする。 週20分以上ネイティブ教員と英会話を行う。 英語に関するアクティビティが近い場合は、グループでの話し合いに充てる。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション	19	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	2	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	20	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	3	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	21	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	4	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	22	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	5	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	23	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	6	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	24	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	7	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	25	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	8	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	26	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	9	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	27	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	10	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	28	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	11	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	29	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	12	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	30	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	13	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	31	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	14	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	32	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	15	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	33	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	16	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	34	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	17	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	35	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	
	18	課題、予習、復習、英会話、アクティビティ	36	まとめ	
成績割合	テスト	0%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	100%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>30% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>30% G<<海外体感型学習>>40%				
講師プロフィール	20年近く日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。				

シラバス

科目名	航空検定		担当者名	入澤 一樹	
学科	研究科		授業方法	講義、演習など	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択 必修選択	授業時間数	18時間(週講時数1)
授業目的	エアライン業界で関わる、さまざまな職種の知識を養う				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	パイロット、整備士、キャビンアテンダント、グランドハンドリングなど様々な航空関連業務と、それらに従事するために必要な資格や経歴についての知識を深め、航空検定2級および1級の合格を目標とする。				
授業概要	私たちが普段利用する、飛行機は、どのような職種の人々か関わり、その職業に従事するにはどのような資格や経歴が必要なのかを学びます。航空業界についての知識を深める。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	オリエンテーション 航空検定を学ぶ意義	19		
	2	ドローンに関わる法令について	20		
	3	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について①	21		
	4	航空業界に携わる公務員(CIQ等)の資格や業務について	22		
	5	管制官の業務・用語について	23		
	6	管制官の業務・用語について	24		
	7	客室乗務員の資格や業務について①	25		
	8	整備士の資格や業務について①	26		
	9	整備士の資格や業務について②	27		
	10	パイロットの資格や業務について①	28		
	11	パイロットの資格や業務について②	29		
	12	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について①	30		
	13	グランドスタッフ、グランドハンドリングの資格や業務について②	31		
	14	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について①	32		
	15	その他地上職員や空港で働く公務員の資格や業務について②	33		
	16	総復習	34		
	17	定期試験	35		
	18	試験返却、フィードバック	36		
成績割合	テスト	60%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	20%			
	レポート・課題	20%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>10% R<<実働実践型学習>>0% A<<主体的参加型学習>>80% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	航空会社のグランドハンドリング部門で勤務経験のある教員が担当。				

シラバス

科目名	Public Speaking III		担当者名	Aaron Meldahl	
学科	研究科		授業方法	演習	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・ <u>後期</u> ・通年 必修・選択・ <u>必修選択</u>	授業時間数	36時間(週講時数2)
授業目的	短いプレゼンテーションを通し、public speakingの基礎を学ぶと同時に、聴衆を感情的にひきつける技術を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	英語でプレゼンテーション技法を学ぶことにより、グローバルな状況においても相手を納得させることが出来る。PPの効果的な作り方も体得する。				
授業概要	リサーチのチェックと台本準備 プレゼンテーションの練習とフィードバック 前期・後期での2度の最終プレゼンテーション				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	Model presen+H13;J26tation 1: Inconvenient Truth opening (モデルプレゼンテーション1:Inconvenient Truth冒頭部)	19		
	2	Check brainstorm(アイデア出しチェック)	20		
	3	Check presentation outline(プレゼンテーション概要チェック)	21		
	4	Opening(冒頭部)	22		
	5	Check opening(冒頭部チェック)	23		
	6	Model presentation 2: Inconvenient Truth presenting data (モデルプレゼンテーション2:Inconvenient Truthデータの提示)	24		
	7	Body 1(本文1)	25		
	8	Check body 1(本文1チェック)	26		
	9	Body 2(本文2)	27		
	10	Check body 2(本文2チェック)	28		
	11	Model presentation 3: Inconvenient Truth conclusion (モデルプレゼンテーション3:Inconvenient Truth 締めくり)	29		
	12	Conclusion(締めくり)	30		
	13	Conclusion check(締めくりチェック)	31		
	14	Final check(最終チェック)	32		
	15	Presentations 1(プレゼンテーション1)	33		
	16	Presentations 2(プレゼンテーション2)	34		
	17	Presentations 3(プレゼンテーション3)	35		
18	Review(復習)	36			
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度	50%			
	レポート	0%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>25% R<<実働実践型学習>>25% A<<主体的参加型学習>>25% G<<海外体感型学習>>25%				
講師プロフィール	20年以上日本で英語を教え、武道など日本文化への造詣も深い。				

シラバス

科目名	接遇手話IIA		担当者名	仲野 裕子	
学科	研究科		授業方法	講義・実技	
認定単位 開講学年	1単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・通年 必修・選択・必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	①聴覚障がいについて理解する ②手話の基本を学ぶ				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	聴覚障がいの基礎知識を学び、理解する。簡単な自己紹介・会話の習得。NPO法人手話技能検定試験4級合格を目指す。				
授業概要	聴覚障がいの基礎知識・コミュニケーション手段などの座学。簡単な自己紹介・日常会話の実技。聴覚障がいゲスト講師との交流。				
授業計画表		授業内容		授業内容	
	1	オリエンテーション①	19	試験の返却/解説(前期の振り返り)	
	2	オリエンテーション②	20	疑問詞(だれ・なぜ・どちら・いくつ)	
	3	ガイダンス・導入	21	疑問詞のまとめ(疑問詞を使った文章表現)	
	4	伝える工夫(コミュニケーション方法・挨拶の手話)	22	時制(1日・1週間の生活)/都道府県名	
	5	手話の基本(指文字・挨拶・出来る/出来ない)	23	時制(四季・1年の生活)/都道府県名	
	6	〃 (指文字・名前・学校名・好き/嫌い)	24	聴覚障がいと福祉制度/接遇手話の簡単な文の練習	
	7	〃 (数の表現・疑問詞の使い方)	25	ゲスト授業事前学習(ろう文化等)/接遇手話の練習	
	8	自己紹介(住所・出身地・県名・国名含む)	26	ゲスト講師(聴覚障がい者)を招いて	
	9	〃 (人物・家族の表現)	27	聴覚障がいの特性を理解する・先週の感想等の共有	
	10	〃 (誕生日・数字・時の表現)	28	4級検定試験に向けて/手話ソング(Xmasソング)	
	11	〃 (趣味の表現)	29	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	12	〃 (職業などの表現)	30	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	13	前期の復習(自己紹介の総復習・表出の小テスト)	31	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	14	前期の復習(自己紹介の総復習・読み取りの小テスト)	32	4級検定試験に向けて/1年間の総復習	
	15	前期の復習	33	学年末試験(表出試験)	
	16	前期の復習	34	〃 (読み取り/筆記試験)	
	17	前期末試験(表出試験)	35	試験の返却/解説	
18	〃 (読み取り/筆記試験)	36	まとめ		
成績割合	テスト		70%	学習FB方法	成績表送付
	学習態度・出席率		20%		
	レポート		10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格
	合計		100%		
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>20% R<<実働実践型学習>>40% A<<主体的参加型学習>>40% G<<海外体感型学習>>0%				
講師プロフィール	手話通訳士として講演会・会議・その他日常生活での手話通訳活動や手話指導経験を積んでいる。				

シラバス

科目名	料理飲食基礎		担当者名	藤澤美英	
学科	研究科		授業方法	講義、実技	
認定単位 開講学年	2単位 1学年	開講期 必・選	前期・後期・ 通年 必修・選択・ 必修選択	授業時間数	36時間(週講時数1)
授業目的	料飲に関する取り扱い、基本的知識の習得を目的とする				
授業目標 (ラーニング アウトカムズ)	将来、社会に出て様々な職業に従事した際、料飲の常識的な知識を役立てられるような人材に育てる事を目標とする。				
授業概要	料理、食材、酒類、カクテル、マナー、食文化等できるだけ幅広い知識を、卒業後も記憶に残るような授業を目指します。座学中心の授業になりますが、学ぶ人の興味を喚起するような内容を行います。				
授業計画表	授業内容			授業内容	
	1	この授業を学ぶ目的、将来目指している仕事との関連から料飲を学ぶ意味を理解させる。	19	葉巻のサービス方法。 シガーサービスコンクールのビデオ。	
	2	人の足元(靴)を見てみよう。ホテルやレストランにおいてドレスコードの有る理由。	20	ビールの醸造法。 歴史、麦芽、醸造の過程について。	
	3	初期の酒の姿。なぜ人は酒を飲むのか、酔うのかその理由。世界の飲酒年齢と文化。	21	ビールの美味しい飲み方。 保管方法、温度管理、グラスの管理。	
	4	飲料と料理の相性。 スタンダードカクテル解説。	22	濃縮還元ジュース解説。 レモンスカッシュ。 ラディッシュカービング。	
	5	シェーク。 ステアー。 フルーツを使って包丁の基本的な使い方。	23	カブアの抜栓と解説。 軟水・硬水	
	6	普段接している食材の旬とは、作り方、収穫方法。	24	ボジョレー・ヌーヴォー解説。	
	7	酒の歴史と文化。 基本的な発酵、蒸留の理論を解説。	25	洋食 メニュー解説	
	8	和食 一汁三菜。	26	皿・グラス類について。 持ち方扱い方。 食べた物の味を表現する	
	9	松花堂弁当(懐石料理)	27	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。	
	10	ワインの抜栓・サービス方法実技。	28	三大珍味とその定義。 トリフの収穫ビデオ。 飲料とのマリアージュ。	
	11	赤ワインのデキャンタージュ・サービス方法。	29	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。	
	12	なぜワインの種類によって飲用温度が異なるのかを解説。	30	三大珍味とその定義。 飲料とのマリアージュ。	
	13	ワインの醸造方法、フランスのワイン産地。 ボルドー地方4大シャトー。	31	アレルギー対応。	
	14	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。	32	アレルギー対応。	
	15	飲料の保存方法。 ラベルの読み方。	33	おせち料理から見える和食の姿。	
	16	今までの授業の復習	34	おせち料理から見える和食の姿。	
	17	今までの授業の復習	35	学年末試験	
18	前期試験	36	一般的なホテルのバーメニューの構成、価格等の内容解説。 蒸留酒。		
成績割合	テスト	50%	学習FB方法	成績表送付	
	学習態度・出席率	40%			
	レポート	10%	成績評価	出席率80%以上 S90~100点 A80~89 B70~79点 C60~69点 D59点以下は不合格	
	合計	100%			
P/R/A/G割合	P<<課題解決型学習>>50% R<<実働実践型学習>>20% A<<主体的参加型学習>>20% G<<海外体感型学習>>10%				
講師プロフィール	帝国ホテル東京レストラン部バーテンダーとして38年間従事、ホテル在職中社命にて赤坂迎賓館にて賓客接客5回従事。				